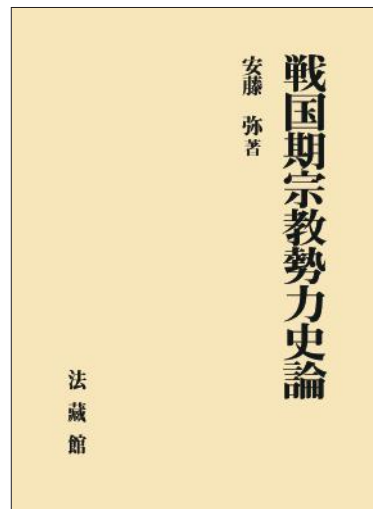


戦国期宗教勢力史論

日本史・仏教史

あんどわたる
安藤 弥著
▼A5判・上製函入・618頁・本体 二一、〇〇〇円十税

2019年10月刊行



日本社会が中世から近世へと変革していく十五世紀後半から十六世紀、戦国期宗教勢力としての本願寺教団の歴史の実態を明らかにする。

【目次】

序論

第一部 戦国期本願寺教団の儀式・組織

第一章 本願寺「報恩講」の始源

―親鸞・覚如期・親鸞三十三回忌―

第二章 本願寺「報恩講」の確立

―蓮如・実如期・「教団」形成との関係性―

第三章 本願寺「報恩講」の展開

―証如期・「教団」構造との関係性―

第四章 親鸞三百回忌の歴史的意義(一)

―顕如期・「報恩講」の変容―

第五章 親鸞三百回忌の歴史的意義(二)

―「報恩講」のはじまり―

第六章 戦国末・近世初期の本願寺「報恩講」

第七章 大坂本願寺の御堂衆をめぐって

第八章 大坂本願寺における「齋」行事

補論1 『顕誓領解之訴状』考

補論2 「権化の清流」は「霊場」へ

―『反古裏書』に読む戦国期真宗僧の論理―

補論3 戦国期真宗僧の歴史認識

―『山科御坊事并其時代事』から『本願寺作法之次第』へ―

第二部 戦国期本願寺教団の社会的地位

第一章 中世の本願寺造営史

―大谷・山科・大坂・天満―

第二章 戦国期本願寺「教団」の形成

第三章 本願寺証如『天文日記』について

第四章 戦国期の大坂本願寺教団と比叡山延暦寺

―『天文日記』の検討を中心に―

補論1 本願寺顕如の誕生・継職

第五章 本願寺「門跡成」ノート

補論2 本願寺の脇門跡興正寺顕尊について

第六章 京都東山大仏千僧会と一向宗

―戦国期宗教勢力の帰結―

補論3 「一向宗(衆)」について

第七章 本願寺教如の生涯と歴史的論点

第八章 本願寺教如の宗教活動と社会的地位

本書の総括と今後の課題

初出一覧／あとがき／索引

◆著者略歴

一九七五年生まれ。
名古屋大学文学部史学科卒業、大谷大学大学院博士課程
文学研究科仏教文化専攻満期退学。
現在、同朋大学文学部教授、同朋大学仏教文化研究所所長。
博士(文学)。真宗大谷派擬講。
主な業績に『大系真宗史料』文書記録編13儀式・故実・法蔵
館、二〇一七年、論文「宗教一揆論」という課題(『日本史研
究』第六六七号、二〇一八年)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
安藤 弥著	法蔵館
戦国期宗教勢力史論	本体 二一、〇〇〇円十税
ISBN: 978-4-8318-6251-8 C3021	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp